平成 24 年 12 月 13 日

各　　位

会 社 名　　株　式　会　社　オ　ハ　ラ
代表者名　　代 表 取 締 役 社 長　齋藤　弘和
(コード番号 5218　　東証第１部)
問合せ先　　常務取締役経理部長　中島　　隆
(T　E　L　　042（772）2101（代表）)

特別損失の計上及び平成 24 年 10 月期通期業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 10 月期（平成 23 年 11 月 1 日～平成 24 年 10 月 31 日）において、下記のとおり特別損失を計上いたしましたので、その内容をお知らせするとともに、平成 24 年９月 13 日に公表した平成 24 年 10 月期通期の連結業績予想と実績に差異が生じましたので、お知らせいたします。

記

１．特別損失の発生及びその主な内容

当社エレクトロニクス事業の主力製品であるハードディスク用ガラス基板材の需要低迷が継続しており、一部の固定資産グループに減損の兆候が認められたため、その回収可能性を検討し、工場設備等の減損損失669百万円を特別損失として計上いたしました。

２．平成 24 年 10 月期通期連結業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 31,800	百万円 1,400	百万円 1,600	百万円 900	円　銭 37.00
実績値（B）	31,661	1,072	1,518	475	19.55
増減額（Ｂ － Ａ）	△139	△328	△82	△425	－
増減率（%）	△0.4	△23.4	△5.1	△47.2	－
（ご参考）前期実績 （平成 23 年 10 月期）	28,659	1,644	1,624	866	35.60

［差異の理由］

売上高につきましては、ハードディスク用ガラス基板材の需要減速等により、エレクトロニクス事業は厳しい状況が続いた一方、光事業は、一眼レフカメラや交換レンズ向け光学ガラス製品の需要が好調に推移したことから、前回予想並となりました。一方、損益面は、エレクトロニクス事業において、ハードディスク用ガラス基板材の設備稼働率の低下及び在庫評価損の計上が収益を圧迫し、営業利益及び経常利益は前回予想を下回りました。また、エレクトロニクス事業において、上記のとおり特別損失を計上したことから、当期純利益も前回予想を下回りました。

以上